

指定管理業務評価表

施設名	柳井市都市農村交流施設(ふれあいどころ437)		
施設所在地	柳井市日積4150番地1		
施設の設置目的	市内外の住民の交流を促進し、中山間地域における産業の振興を図るとともに、地域住民のコミュニティ活動の活性化に資するため、施設を設置する。		
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日	(5 年)	選定方法 <input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募
指定管理者	所在地	山口県山口市小郡下郷2139番地	
	団体名	山口県農業協同組合	
	代表者	代表理事組合長 金子 光夫	
所管課	部	経済部	課 農林水産課

1 業務の実施状況

		令和4年度 実績	事業計画等に示されている業務の実施状況・実績値等とその評価 (不十分な場合は、その内容・理由・改善指示・対応状況等を記入)		評価
①運営業務 (協定書に規定されている業務) 実施状況		「よりあいどころ」という施設コンセプトのもと、日積地域のコミュニティの活性化(市内外の住民の交流、地域情報の収集及び提供等)と地域農業の振興(農林水産物及び加工品並びに特産物の販売、地域の食材等を活用した料理の販売、開発)を図るため、施設機能を十分活用し、適正な運営がなされている。			A
	②維持管理業務 (協定書に規定されている業務) 実施状況	施設設備全体のきめ細かい日常点検及び定期的な保守点検業務を実施し、故障等の未然防止と施設の長寿命化に努め、不具合があった場合には、的確かつ迅速に対応し、安全で快適に利用できるよう適正に管理されている。			A
		③その他の業務 (協定書に規定されていない業務) 実施状況			—
		④個人情報保護の対応状況			A
		⑤緊急時等への対応状況			A
所管課意見	柳井市都市農村交流施設の管理に関する基本協定書、年度協定書及び事業計画書並びに条例等に基づき、適切に業務が遂行されている。				

個人情報取扱実績				
種 別	取得時期	件 数	取扱個人情報項目	備考
登録団体・個人	4年度当初	3,583 件	代表者の住所、氏名、 電話番号、口座番号等	
	〃 追加	0 件		
	合 計	3,583 件		
施設利用申請	4年度以前	70 件	利用者の住所、氏名、 電話番号等	
	〃 申請	0 件		
	合 計	70 件		

指定管理業務評価表

施設名 柳井市都市農村交流施設(ふれあいどころ437)

2 施設の利用状況

		令和4年度 実績		事業計画等に示されている業務の実施状況・実績値等とその評価 (不十分な場合は、その内容・理由・改善指示・対応状況等を記入)					
①施設等の 利用状況	利用実績	利用率=利用件数÷利用可能件数						評価	A
		利用件数	利用者数	利用率	不許可件数	※不許可とした理由			
	本館棟	1件	72,021人	%	0件				
	体験交流棟	227件	1,870人	63%	0件				
	合計	227件	73,891人	%	0件				
②使用料等 の収入状況	使用料収入実績					評価	A		
		項目	件数(件)	収入額(円)	免除件数(件)				
		体験交流棟使用料	2	56,030	225				
		雑収入(体験交流)	0	0					
		合計	2	56,030					
③管理経費 の収支状況	収支決算書	(単位:円)				評価	A		
		収入		支出					
		施設使用料収入	56,030	人件費(給与等)	22,671,303				
		直売所営業収入	22,870,587	管理費(電気料等)	8,812,450				
		レストラン営業収入	26,054,966	体験交流棟費	0				
		自動販売機手数料	391,107	直売所関連費	14,429,661				
		指定管理料	7,989,092	レストラン関連費	13,342,203				
		その他(雑収入)	0	その他(雑費)	7,589				
		合計	57,361,782	合計	59,263,206				
		収支差引額	-1,901,424						
所管課意見	施設の利用状況は正確に把握されており、施設使用料及び管理経費の収支決算は適正に処理されている。本館棟利用者は減少しているが、広告、イベント等のPRを積極的に実施し、利用者拡大を図る。農家レストランについては、バイキング方式ではなく日替わり定食のみでの営業を行っているが、一年を通じて利用者が増加しており、売上額も増加している。体験交流棟においては、地域コミュニティ活動の拠点として利用件数は減少しているが、イベント等の開催により、増加に努めている。								

指定管理業務評価表

施設名	柳井市都市農村交流施設(ふれあいどころ437)
-----	-------------------------

3 利用者の満足度

令和4年度 実績		事業計画等に示されている業務の実施状況・実績値等とその評価 (不十分な場合は、その内容・理由・改善指示・対応状況等を記入)				評価
①アンケート調査結果	アンケート調査結果 実施期間: 対象者:					A
			回答数:		バイキングを再開してほしい	
	設 問	選択肢	人数(人)	割合(%)		
	過去の利用の有無	ある	23	76.7		
		ない	7	23.3		
	利用頻度	週1回以上	7	23.3		
		月1回以上	6	20.0		
		年1回以上	17	56.7		
	施設の満足度	満 足	29	96.7		
		普 通	1	3.3		
不 満		0	0.0			
職員の対応	満 足	28	93.3			
	普 通	2	6.7			
	不 満	0	0.0			
今後の利用意向	利用したい	30	100.0			
②利用者からの苦情・要望等への対応状況	バイキングの再開はコロナ発生状況及び物価上昇状況も踏まえて検討する。				A	
所管課意見	本施設は直売所、農家レストランの利用客が多く、直売所については年間を通じて充実した商品を提供できるよう努め、農家レストランについては日積女性グループ「山里ひづみ」による地域農産物を使用した郷土料理の提供や新メニューの開発等の営業努力等により、結果売上が増加しており、職員の日頃の努力が伺える。					

総合評価

項目別評価	総合評価	評価内容
業務実施状況	A	業務の実施状況については、基本協定、事業計画及び条例等に従って適切に業務を遂行している。施設の利用状況については、イベント等の開催により、利用件数の増加に努めるよう指導する。利用者の満足度については、アンケート調査結果から昨年同様好評を得ており、特にレストランの料理に対する評価が高い。
施設利用状況	A	
利用者満足度	A	

◆評価基準(カッコ内は項目別評価・総合評価の基準)

- A⇒ 協定書、事業計画書等に規定した業務内容が適切に実施されている。(全ての評価がB以上で、かつ、Aの割合が60%以上である。)
- B⇒ 協定書、事業計画書等に規定した業務内容が適切に実施されていない部分が確認されたが、既に改善済み又は近く改善される見込みである。(全ての評価がB以上で、評価区分「A」に該当しない。)
- C⇒ 協定書、事業計画書等に規定した業務内容が適切に実施されていない部分が確認されたため改善を指示したが、未対応又は改善の見込みがない。(評価区分「A」「B」に該当しない。)